

研究課題名	肝臓移植後肝癌再発高危険群の全国実態調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2022年 1月(倫理委員会承認後)～ 2023年 3月
対象者	2010年1月～2018年12月の間に、東京大学医学部附属病院で肝細胞癌に対する肝臓移植術を受けられた患者。
意義・目的	肝細胞癌合併肝臓移植の保険適応が「ミラノ基準内ないし5-5-500基準内」に拡大されましたが、再発危険因子についてはまだ解明されていません。今回、肝細胞癌肝臓移植の全国調査を行うことで再発高危険群が同定可能となり、有効な術後補助療法やサーベイランスにつながるため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は術前情報（年齢、性別、血液検査、既往症、血液型適合性、ドナー特異抗体有無など）、ドナー情報（年齢、性別など）、手術情報（グラフト種類、出血量、輸血量、手術時間、グラフト重量体重比など）、術前肝細胞癌所見（画像所見、腫瘍マーカーなど）、病理所見、術後生存情報、術後肝細胞癌再発情報、免疫抑制剤使用情報などです。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	全国39施設（旭川医科大学、岩手医科大学、愛媛大学、大阪大学、岡山大学、沖縄県立中部病院、金沢大学、関西医科大学、京都大学、京都府立医科大学、九州大学、熊本大学、久留米大学、慶應義塾大学、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸大学、国立成育医療研究センター、埼玉医科大学総合医療センター、自治医科大学、順天堂大学、信州大学、千葉大学、東京医科大学八王子医療センター、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東京大学、東北大学、獨協医科大学、長崎大学、名古屋大学、新潟大学、日本赤十字社医療センター、弘前大学、広島大学、福島県立医科大学、藤田医科大学、北海道大学、三重大学、横浜市立大学） 広島大学に情報を集め広島大学（研究責任者 大段 秀樹）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 大段 秀樹
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。（モニタリング有の場合）ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

<お申し出先>

〒181-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

T e l : 03-3825-5411

東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科 市田 晃彦

<研究全体の問い合わせ>

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5222

広島大学病院 未来医療センター 助教 大平 真裕

研究機関：広島大学